

2026 年 1 月 30 日

関係各位

千代田化工建設株式会社

**出光興産株式会社向け全固体電池実用化に向けた  
固体電解質大型パイロット装置建設の EPC 業務受注と  
固体電解質の中長期の量産化に向けた戦略的パートナーシップの締結について**

千代田化工建設株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:太田 光治、以下「当社」)は、出光興産株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:酒井 則明、以下「出光興産」)より、出光興産千葉事業所における全固体リチウムイオン二次電池(以下、「全固体電池」)の実用化に向けた固体電解質大型パイロット装置の EPC\*業務を受注しました。更に、当社が出光興産の固体電解質事業に係る業務を継続的に遂行してきたこと、および当該業務を通じて得た当社のプロジェクト遂行能力に対する信頼と評価を背景として、出光興産と固体電解質事業に関する戦略的パートナーシップ(以下、「本締結」)を締結したことをお知らせします。

固体電解質大型パイロット装置の建設は、出光興産が 2027 年～2028 年の全固体電池の実用化を目指し、全固体電池の材料となる固体電解質の製造をおこなうプロジェクト(以下、「本プロジェクト」)です。全固体電池は、主に電気自動車(BEV)における航続距離拡大・充電時間の短縮・安全性向上を実現するため、自動車および電池メーカー等で開発が進んでおり、次世代型電池の本命とされています。固体電解質はその全固体電池のキーとなる材料であり、本プロジェクトで建設される固体電解質大型パイロット装置の生産能力は年間数百トンを見込んでいます。本プロジェクトは、当社が 2024 年 12 月 24 日にプレスリリースを行った基本設計業務に続く EPC 業務です。当社は、本プロジェクトにおいて、固体電解質大型パイロット装置の EPC 業務を遂行し、2027 年中の完工に向け取り組んでまいります。



大型パイロット装置完成イメージ  
(青枠が該当装置)

当社は、出光興産の固体電解質事業において、固体電解質の小型実証設備第 1 プラント能力増強に関する EPC 業務を遂行し、2025 年に完工しました。現在は、固体電解質の中間原料である硫化リチウムの大型製造装置の EPC 業務も 2027 年の完工に向け、遂行中です。

また、本締結は、今後世界的な成長が見込まれる全固体電池市場の需要に応えるために、固体電解質

の安定的な量産体制を迅速に構築することを目的としています。両社は、硫化物系固体電解質の製造事業(固体電解質製造プラントとその中間原料となる硫化リチウム製造プラント)を対象として協議を進め、両社のノウハウや知識、経験を共有し、最大限活かすことで上記の目的達成を目指していきます。

当社は総合エンジニアリング会社として、全固体電池を含むカーボンニュートラルの実現に貢献する技術の社会実装に向けて多方面から事業に取り組んでいます。これらの事業を通じて、当社のパーパスである「社会の“かなえたい”を共創(エンジニアリング)する」ことを目指して、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

\* 設計(Engineering)、調達(Procurement)、建設(Construction)

【参考】

出光興産による 2024 年 10 月 28 日のプレスリリース

<https://www.idemitsu.com/jp/news/2024/241028.pdf>

当社による 2024 年 12 月 24 日のプレスリリース

<https://www.chiyodacorp.com/jp/media/assets/241224.pdf>

当社による 2025 年 4 月 24 日のプレスリリース

<https://www.chiyodacorp.com/jp/media/assets/250424.pdf>

当社による 2025 年 5 月 14 日のプレスリリース

<https://www.chiyodacorp.com/jp/media/assets/250514.pdf>

以 上

---

この件に関するお問い合わせ先 :IR・広報・サステナビリティ推進セクション 池尻、宮崎

Email: [chiyoda\\_pr@chiyodacorp.com](mailto:chiyoda_pr@chiyodacorp.com)

URL: <https://www.chiyodacorp.com/jp/contact/index.php>